

仙人通信 152 白水山(812 m)

白水山(しろみずやま)は、元旦のダイヤモンド富士で有名な本栖湖の西の竜ヶ岳(仙通 97)から、毛無山(仙通 47)・長者ヶ岳(仙通 67)へと連なる毛無山塊(山梨と静岡の県境)の南端に位置し、富士川の支流である佐野川と稲子川に挟まれた三等三角点の山である。

国道 52 号から十島を経て、国道 469 号沿いにある温泉等の施設であるユートリオの近くの広場に車を止め、稲子川沿いの県道 398 号を進み、大和田地区から石神峠→山頂そしてユートリオの近くへと戻るコースとした。

コースが稲子川の源流へと進む為、車の往来がほとんど無い上に、対岸に何本もの吊り橋が架かり、民家や河原には紅白の梅が咲き、長閑かな山間の風情を味わいながらの 30 分だ。更に5分程で飛騨温泉や大和田部落で、左手の民家の角に白水山登山口を示す道標である。ここからは、大和田一門野線の林道だ。檜と杉の林で、土手にはアオキや蔓を伸ばしたフユイチゴが赤い実を付け、小さなその実に日の光が当たり透けるように綺麗だ。

大和田地区から 20 分程で林道から離れ進むと小さな広場があり、赤く錆びた屋根の放置された2軒の民家と墓地である。広場は日当たりがよく、土手にスマレが一株咲いて迎えてくれた。ここから杉や檜の林で、ほとんど光の入らない登山道コースだ。20 分程で先ほどの林道と交差する石神峠である。石神峠は室町時代、芝川と佐野地区を結ぶ生活道として作られ、以後身延山への(身延街道)参拝コースとして、桜峠・石神峠・天子湖・佐野峠が整備されたらしい。峠には 10 体近い石仏が祀られている。更に杉林を8分程進むと富士第一展望台である。綺麗な富士山が望めたのでカメラを固定すべく準備していると白い雲が伸びて覆い隠してしまい残念である。諦めて更に 30 分程進むと、山体の南面から稜線に出る事が出来、檜や杉の間からコバルトブルーの天子湖が辛うじて確認できた。15 分程で北側の展望ポイントである。ブナ・ミズナラの梢越しであるも隣の思親山の肩の右側に白い八ヶ岳が、左側に塩見岳だ。手前には崖崩れの七面山が、そして十枚山から高ドッキョウまでの竜爪山塊の山波も見渡せた。コースは又もや檜と杉の林の中となり、25 分程で白水山の山頂に辿り着くも一帯は、30cm以上もある檜林で眺望はゼロである。山頂から5分程で富士山の第二展望台である。高度が上がった事もあり、綺麗な富士を見ることができました。檜と杉の林が続き、70 分程で車に戻る事が出来た、4時間 15 分(19000 歩)の山旅でした。温泉に入ろうとユートリオに行くと、3月末まで回収工事で閉鎖との事・・(・ω・)。帰りは、桜峠を越えて民家に近づくと、正面に富士山が・北側には大室山や王岳が更に毛無山塊が、南側には愛鷹の峰が展開され、疲れを癒してくれました。(h 29.1. 31)

石神峠の石仏



山頂



展望台からの富士山

